



宗谷の開拓の一步を切り拓いた 梨本 弥五郎

【指導事例 1】

1 主 題 「自分の意志をもちやり抜くために」〔希望と勇気、克己と強い意志〕

2 ねらい

より高い目標の達成を目指し、希望と勇気をもって困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てる。

3 教材について（教材の生かし方や人物像）

本教材は、江戸時代後期に幕府の役人であった梨本弥五郎が、渡航が困難な海を渡り、宗谷に赴任し、厳しい寒さを乗り越えて北海道の開拓に尽力した功績に触れることを通して、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げようとする実践意欲を育てることをねらいとしています。

前半では、迷信にとらわれず、勇気をもって渡航が困難な海を渡り、開拓のため宗谷に赴任する梨本弥五郎の姿について触れています。

後半では、寒さの厳しい宗谷での越冬のため、アイヌの人たちと力を合わせ、日本で初めてストーブを制作する梨本弥五郎の様子について触れています。

指導に当たっては、梨本弥五郎が前人未到の困難に勇気をもって立ち向かった生き方について、多面的・多角的に話し合い、困難があっても、目標の実現に向けてやり遂げようとするこの大切さについて深く考えさせることが重要です。

4 展開例—①「梨本弥五郎の生き方を通して、やり遂げる強い意志について考える展開」

	●学習活動 ○主な発問 ◎中心的な発問 ・予想される子どもの反応	・指導上の留意点（■評価）
導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 日常生活の中で、努力して成し遂げた経験やくじけてしまった経験を話し合う。 ○ 今までに努力してできたことや、努力しなければならぬと思いつながら、なかなかできなかったことはありますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・希望する学校に進学できるように、自分で課題を決めて家庭学習に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいとする道徳的価値への方向付けをする。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ● 教材「宗谷の開拓の一步を切り拓いた」を読み、話し合う。 ○ 「カッヘル（ストーブ）」が宗谷に届かなかった時、弥五郎は、どのような気持ちになったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・部下や部下の家族の生活が心配だ。 ・自分たちの手で、ストーブを造ることはできないか。 ◎ アイヌの鍛冶屋である景蔵に「任せておけ。私が造ってやる。」と言われた時、弥五郎はどのような気持ちになったのでしょうか。 <ul style="list-style-type: none"> ・あきらめずに、次の方法を考えてよかった。 ・力を貸してくれる人たちに感謝したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・弥五郎が、克服が困難な場面に遭遇した時の気持ちを話し合い、人間理解を深めさせる。 ・弥五郎が、あきらめずに挑戦を続けるよさを多面的・多角的に話し合い、価値理解や他者理解を深めさせる。
	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間としての生き方について考える。 ○ 自分で決めた夢や目標に向けて努力を続けていくためには、どのようなことを大切にしなければならないと思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> ・自分には、部活動でレギュラーになるという目標があるが、思うように上達しないとあきらめたくなる気持ちが出てくるので、粘り強さが大切だと思う。 ・目標を達成した時に、有頂天になって家族や友達の支えを忘れてしまうことがあるので、感謝の気持ちをもつようにしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夢や目標について、自分の人間としての生き方を振り返り、自己理解を深めさせる。 ■ 困難や失敗を乗り越えて、努力を続けることの大切さについて、自分との関わりで、考えを深めている。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ● 教師の説話を聞く。 ※教師の経験から困難に立ち向かい、それを乗り越えた時の気持ちやその後の様子についての話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の心に残る努力の思い出を語ることにより、困難や失敗を乗り越えてやり遂げるようとする実践意欲が育まれるようになる。

【指導事例 2】

1 主 題 「自分の意志をもちやり抜くために」〔自主、自律、自由と責任〕

2 ねらい

自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもとうとする心情を育む。

3 展開例—②「困難や失敗を乗り越えて努力を続けた弥五郎の生き方を通して、自主的に考え、判断し、実行し、その結果に責任をもつことについて考える展開」

4 主な学習活動

(1) 弥五郎が神威岬を越えたいと船頭に伝えた時、船頭は拒否しようとしてしました。あなたが、弥五郎の立場だったら、どうしますか。

- ・船頭が拒否するなら、船を進めることができないのであきらめる。
- ・部下や部下の家族の安全に関わることだからあきらめる。
- ・渡航すると決めたのは自分だから、船頭を説得する。

(2) 宗谷に「カッヘル（ストーブ）」が届かないことを知ったとき、あなたが弥五郎だったら、どうしますか。

- ・なぜ宗谷に届かないのか。何とかして届けるように、幕府に申し立てる。
- ・宗谷の地に住むアイヌの人たちの住まいを借りる。
- ・自分たちの手でストーブを造る。

(3) 弥五郎が、危険をかえりみず、部下や家族を連れて北の海を越えたことや、「カッヘル（ストーブ）」を造らせることを実行したことについて、あなたはどのように思いますか。

- ・自分の役割に責任をもって、自分が決めたことを実行しているので、共感できる。
- ・船頭や部下、家族を危険な目にあわせているので、自分だったらそこまではできない。
- ・誰かが新たな一歩を踏み出さなければ前進しないが、周りの人たちとの関係も気にかかるので、どちらとも言えない。

□ 活用場面例（道徳科以外での活用事例）

■ 国語科

読むことの、目的に応じて本や文章を読み、知識を広げたり、自分の考えを深めたりする学習において、伝記などの読書活動を行う際に、本教材を活用することを通して、読書の分野を広げることができるようにする。

■ 社会科

歴史的分野の近代の日本の学習において、北海道の開拓に関わる内容を取り扱う際に、本教材を活用することを通して、北海道の開拓に人生をかけて取り組んだ人々の強い意志や努力について理解を深めることができるようにする。

■ 特別活動（学級活動）

学級活動の望ましい勤労観・職業観の形成についての学習において、自分の役割や生きがいなどの題材を設定し、調査などをもとに話し合ったり、ディベートを行ったりする活動の際に、本教材を活用することを通して、生きがいのある人生を築こうとする意欲を高めることができるようにする。

■ 家庭や地域との連携

学級通信等において、本教材を活用した学習の様子を家庭に伝えるとともに、勇気や強い意志をもつことの大切さについて家庭や地域で話し合ってもらおうよう依頼し、困難に立ち向かって努力を続けようとする意欲を高めることができるようにする。